

会の動き

～会よりお知らせ～ ちょっと残念なお知らせ

前号、10月23日号でお知らせしました、12月1日、2日の福井県大野市の「本願清水イトヨ生息地」先進地見学会は、会員の多くが、各市町村で開かれる12月議会に係る会員も多いことや、11月25日の会津大にて開催しました、シンポジウムの一週間後であったことなどから、少々オーバーワークになりました。誠に申し訳ありませんが、休止とさせていただきたいと考えました。お申し込み、ご準備をされた皆さん、本当に申し訳ありません、お詫び申し上げます。

みんゆう環境賞助成5団体に当会会員の「会津イトヨ研究会」(山中實代表)が選ばれました

かけがえのない自然環境を守り、ふるさとの美しい自然を未来に残すために環境保全団体の活動計画を支援しようと福島民友新聞社が創設した「みんゆう環境賞」の本年度助成団体が決まりました。助成は今回が6回目で、会津イトヨ研究会は一般の部で受賞・助成を受けました。

「会津イトヨ研究会」では、学習に役立ててもらうため、ふるさと会津の「水生生物の標本」と「生物観察ガイド」のセットを作成するというものです。標本を親しみやすい五、七、五調の「観察ガイドカード」で案内し、楽しく学習してほしいとのことです。なお、カードは喜多方市内の小中学校に配布するとの事です。

新作紹介

～ハリヨの夏～

高校3年生の瑞穂は夏休みに同級生の翔に夜のプールで泳ぎを教えてもらう・・・アレ、何んの紹介？瑞穂の人生はこの夏休みに・・・アレ、アレ、何んなの？そう新作映画の紹介です。数多く作られる映画にあってトゲウオ科のハリヨ[トゲチヨ(イトヨ)も同じ仲間]が題名となったり、ハリヨの生態をベースにした映画はとても稀なのです。

この映画の指導に森誠一先生が参加されています。注)女学生の生態指導ではなく、ハリヨの生態指導にです！会ではこのDVDを貸し出しをしています。ご利用下さい。

新聞掲載記事

H19.11.27(火) 福島民報



◆2007.12.5 発行◆

第6号

発行「トゲチヨ会津ネットワーク」事務局
国土交通省阿賀川河川事務所工務課
NPO法人会津阿賀川流域ネットワーク
〒965-0830 会津若松市西年貢1丁目7番45号

本号4ページ

- ～講演と学習発表会～
- 阿賀川の水環境を考える・・・1～2
- 高郷町観察会・・・3
- 湧水保全フォーラム参加報告・・・3
- 会のお知らせ、他・・・4
- あがかわ流域学講座～リ・キ・ム～・・・4

本年度の事業計画が着々と実行されています。本号では会津大での講演と学習発表会・高郷町観察学習会・湧水保全フォーラム全国大会参加についての特集号です。そして、ちょっと残念なお知らせもあります。基調講演者の中村先生は阿賀川の水質のキレイさが、トゲチヨを育む源であるとの話がありました。もう師走です。悪い風邪が流行しています。どうぞ御自愛下さい。



菅家一郎 会津若松市長



会場は300名を越える参加者にうまった

会津大学において『阿賀川の水環境を考える』講演と学習発表会が11月25日に行われました。当日は、会津若松市長菅家一郎さんをはじめ水環境に思いを持つ約300余名の多くの参加者がありました。では会での要旨をお知らせいたします。

はじめに会長二瓶庄栄より、よりよい水環境は、生きものに溢れ、人がより親しめる川とは・・・を問い続けることが目指す水環境につながるのです。この想いと行動を続けて行こうではありませんか、と参加者に呼びかけました。

続いて、会津若松市長菅家一郎さんより、水の豊かさを表す関伽(あが)。それを語源とする阿賀川を言葉どおり豊かで清い川にしよう。清い流れに生きるイトヨを護ることは会津の住環境を護ることなのです、とのお話がありました。

基調講演 「会津地方の理想的水環境」 日本大学 教授 中村玄正 氏



講師 中村玄正教授



「ふるさと」を歌う参加者一同

先生は、水や川は本来どうであったのかを写真や数字(データ)で示され、健全な自然環境の大切さをお話しされました。

トゲチヨの棲む各地の水質環境にも細かく話されました。また、水はなぜ汚れるのかという話しでは、自然物の影響での汚れと人為による汚れがあるとお話しもありました。

自然物では浄化に働く場合もあるが、人為ではそれが無いので人は水を汚してはいけないとのことでした。豊かになることで、水を汚した人間は自然の恩恵を受ける権利もあるが自然を保全する義務もあるのだと訴えられました。先生はまた、ふるさとを思うやさしい気持ちが自然を護ることにつながるのだと、参加者一同で唱歌「ふるさと」を歌いました。

第7回 会津若松 流域学講座

リ・キ・ム

腹がヘル。街に出る。食堂があまり目につかない。かわりに、太字で〇〇麺屋などの看板が目につく。日高昆布・太麺などを売りに大書してある。コレ、見よの感じである。店では同じ格好をした者たちが一斉に大きな声でいらっしやい・・・ウマイのだがナンダカ、コレデモカという強い味がする。そんなにリ・キ・ムことないのに。川を覗いた。小さな魚が群れていた。遠くにトゲチヨかな？見えた。より身をのり出したらより遠くに去った。小魚が、リ・キ・ムなよ。また戻るよと言った。(坂下 諭)

続いて 身近な湯川を学習の場としている、会津若松市立の2校より川・水をテーマとした発表がありました。
また、川に遊び学ぶ人々を応援する、阿賀川・川の達人の会からの発表もありました。

「城西小学校 湯川探検隊！」

城西小学校

川は上流から下流に向かって汚れていく。川の上流のゴミは下流に流れる。汚物は川を汚す。石の大小を見て川にはいろいろな環境があることがわかった。汚いと思っていた湯川に魚がいて驚いた。などなど多くの体験発表がありました。そこで、看板をつくり、地域の人に川を汚さないことを訴えたいと結びました。また、川にゴミを捨てる劇を演じ、水に生きるものたちにとってゴミや汚れとはどんな存在なのかを訴えました。



湯川の下流にすむ生き物について説明しています。

劇での発表
湯川にはゴミが多く汚い。だからキレイにしていこうね



発表

「湯川大好き！」

謹教小学校

湯川を広く学んだ。その結果・・・
湯川では舟をつかったこともあった。水も飲んでいた。かつては多くの方が川に出入りしていた。でも今は、湯川に棲む生きものはいつまでも湯川にいたいと思っている。ことなどを知りました。

川に子どもが少ない。

川にゴミが多い。

これでは、川も淋しいと感じていると思いました。

そこで私たちは、

川のオシャレリである、
川のせせらぎに耳を傾け、
川とともに生きることが大切だと
思った。

との発表がありました。

川とともに生きることが大切



湯川ってすごい！
おもしろい！



「子どもたちの水環境意識の変化」 阿賀川・川の達人の会

阿賀川・川の達人の会では学校よりの総合的な学習、地域よりの水環境学習などをはじめとするいろいろな支援を行ってきています。

そこで、会ではなぜ、支援をするのか、その結果はどうであったのかについて報告をしました。

川を含め自然と触れ合うことで豊かな人間性が作られていくこと、道徳観・正義感もつくられること、生きる力を育むことにつながるなどなどに起因することなどの話があり、結果、川をキレイにする。生きものにとって棲みやすい川。川にやさしくする。泳げる川。などを目標にする。との川に入った感想としての発言があったことの報告がありました。

達人の会では今後も、川を通じてよりよい水環境を護る地域づくりの支援を続けるとの決意が語られました。

高郷町只見川に生息するトゲチヨの観察会報告

この観察会は、11月6日(火)に高郷町自然を守る会のご協力で実現しました。当日は寒い日にもかかわらず、地元の一般の方々をはじめ会員、多くの参加で観察をしました。先ず、一様に只見川というイメージと、生息地があまりにも隔たりのある現実に驚きました。

また、地区の人々が水田の圃場整備以前はあちこちに湧き水が豊富にあったこと、トゲチヨを見た人々もいたことなどもわかりました。参加者はゴムボートでの観察をしました。

昼食ののち、郷土資料館での学習では、副館長の渡部さんより、高郷町地質時代の会津での多くの生きものの化石の採掘される所とのもともわかりやすい御説明がありました。お話を聞いて改めてトゲチヨ(イトヨ)が陸に封じ込められた歴史をひも解く重要なところだと参加者一同は強く思いを抱きました。

ご案内をいただいた、教育委員会様、郷土資料館の皆様にご感謝申し上げます。また、当日は会員の阿賀川漁協さんの川前地区における水の浄化に係るお話もありました。



ボートでの観察



高郷町郷土資料館見学



ミニ勉強会

湧水保全フォーラム全国大会参加報告

10月29日、30日福井県大野市「めいりんの里」においてこの全国大会は、湧水と水環境・市民活動・保全活動の情報を広く発信し、今、われわれは何を考え、何をなすべきなのかを問い、学び、啓発することを目的とするものです。

ここ、会津に生きるトゲチヨも湧水地の減少とともにその生息数も減少をしています。全国の状況、会津の状況の理解を得るべく会員5名にて参加しました。会では各地での湧水保全、動植物の保全などの発表33例などがありました。特に農業と生きものの共存についての発表が注視されました。

竹村公太郎氏の基調講演で、近代化に逆行するソウルの清溪川の再生事業の発表には、参加者は一様に大きく驚かされました。また、本会には秋篠宮殿下の御臨席もありました。



トゲチヨ会津ネットワークの活動を紹介したポスター



ポスターセッション会場準備の様子